

平成30年度ごみ処理実施計画 具体的施策（案）について

1 平成30年度ごみ処理実施計画 重点項目（案）

「長野市一般廃棄物処理基本計画（H29～33年度）」で定めている4つの基本方針、17の基本施策に基づき、目標達成のための具体的施策を実施します。

平成30年度は、長野広域連合が設置する新焼却施設が稼働することから、稼働を契機とした可燃ごみの減量に関する基本施策を重点項目に設定します。

- ①家庭ごみの発生抑制の推進
- ②事業ごみの発生抑制の推進
- ③環境教育の充実
- ④分別の徹底とわかりやすい啓発活動の推進
- ⑤食品ロス削減に取り組む活動への支援
- ⑥効率的な廃棄物行政の推進
- ⑦ごみ処理施設の整備

基本方針1 循環型社会へ向けた市民・事業者・行政の三者一体による取り組み

基本施策	実施内容
<p>1 家庭ごみの発生抑制の推進</p> <p style="text-align: right;">重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2R啓発の強化として、サンデーリサイクルの案内チラシへごみ減量チェック表を掲載、ごみカレンダーとともに全戸配布 また、えこねこ通信へリユースの記事を掲載 ・生ごみの自家処理を促進するため実践講座を引続き開催 ・チャレンジ800実行チームへ参画、県運営の「信州ごみげんねっと」の充実を図る
<p>2 事業ごみの発生抑制の推進</p> <p style="text-align: right;">重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページで排出事業者責任について解説、多量排出事業所への減量計画書提出依頼時等に、啓発を行う ・事業ごみ減量マニュアルや減量化事例の紹介等を事業所訪問等の際に啓発
<p>3 社会的責任を意識した事業活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ながの環境パートナーシップ会議「レジ袋使用削減プロジェクトチーム」で関係団体と容器包装類削減活動について引き続き協議
<p>4 循環利用の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」へ引き続き参加 ・市農業研修センターで栽培した野菜を宿泊施設へ販売し地産地消を図るとともに、同施設で発生する野菜くずを堆肥として同センターのほ場へ還元する「環境にやさしい農業地域循環モデル事業」を実施

<p>5 地球温暖化防止等への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスタウン構想推進協議会への参画し、剪定枝葉等の利活用の検討 ・リサイクルプラザでながの環境フェアの実施
<p>6 環境教育の充実</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 10px;">重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・えこねこ通信の発行(11号) ・園児を対象とした生ごみ処理教室(パネルシアター)の開催 ・市内小学校4年生を対象に清掃センターの施設見学を実施併せてごみ減量チェック表やレジ袋削減パンフレットを配布 ・災害備蓄食品の有効活用について、長野県立大学と連携して研究
<p>7 分別の徹底とわかりやすい啓発活動の推進</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 10px;">重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな広域ごみ焼却施設稼働に対応するごみの出し方保存版等の発行や住民自治協議会への説明会の実施 ・分別強調月間に合わせ、可燃ごみの減量について啓発特に可燃ごみに多く含まれる紙類の分別について啓発
<p>8 不法投棄対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ運動の実施 ・不法投棄監視カメラ等の設置

基本方針2 心地よい暮らしづくりに向けた新たな課題への取り組み

基本施策	実施内容
<p>1 社会状況の変化に応じた市民ニーズの把握と情報発信の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット市政放送で、静止画だけではわかりにくいごみの分別方法について、動画を制作、ワンポイントアドバイスを配信 ・市オープンデータサイトへごみの分別辞典や家庭ごみ収集日程データを掲載、民間事業者によるアプリ開発等を促す 併せてアプリ等開発者へ、ごみの減量・分別啓発への協力を依頼 ・ながのわくわく子育て応援メールでごみ減量・分別に関する情報を配信
<p>2 排出困難者への支援の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戸別収集の実施に向けて調査・検討する。
<p>3 食品ロス削減に取り組む活動への支援</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">重点</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減のための官民協働による組織の立ち上げ ・30・10運動を引き続き推進、該当啓発の実施 ・フードバンク活動等への協力・支援、関係団体との意見交換
<p>4 新たな啓発施設（複合施設）の活用方法の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルプラザの既存機能に加え、多目的ホールや講座室等が充実するため、これらの施設を活用した事業を計画 ・サンマリーンながのとの共有エリアのアトリウムを積極的に利用したイベントや展示会等の開催

基本方針3 環境負荷の低減に配慮した廃棄物処分への取り組み

基本施策	実施内容
1 適正な収集運搬体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・新焼却施設稼働に伴う、収集運搬事業者との協議 ・ごみ集積所設置改修事業補助金によるごみ集積所の環境美化の支援として、カラスよけネットを引き続き貸与
2 効率的な廃棄物行政の推進 重点	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理手数料の見直し(審議会へ諮問、答申をいただく) ・H29年度ごみ処理コストを算出並びに環境省一般廃棄物処理事業実態調査の取りまとめ結果を市ホームページへ掲載
3 ごみ処理施設の整備 重点	<ul style="list-style-type: none"> ・長野広域連合が大豆島地区に計画している「広域ごみ焼却施設」の平成30年度中の稼働に向け、地元住民と協議を図りながら、施設整備を実施 ・広域連合の建設計画との調整を図りながら、新焼却施設稼働に向け、清掃センター施設の改修及び整備
4 災害廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会に参画、情報伝達訓練・図上演習へ引き続き参加

基本方針4 計画を推進していくための取り組み

基本施策	実施内容
1 PDCAサイクルによる計画(施策)の進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会での具体的施策の審議、実施計画の策定 ・市まちづくりアンケートや国の環境白書等からごみに関する意識の分析